



# 渋谷本町学園だより

令和2年5月8日発行 NO.2

渋谷区立渋谷本町学園

校長 斉藤 茂好

TEL 3373-3201

★HPアドレス★

<http://www.fureai-cloud.jp/shg2012>

## 授業を取り戻す

校長 斉藤 茂好

校長の斉藤です。3月2日以来コロナウイルス感染拡大防止のため、学校は臨時休業等の措置を講じてきました。そして、今回更に5月31日まで延長されることとなりました。3月から数えると3か月もの間、子供たちの声や姿が学校から消え、「学校の日常」がなくなってしまいました。

新学期を楽しみにしていた児童・生徒の皆さん、並びに保護者の皆様にとって、今回の長い休業措置の影響は計り知れず、大変不安で重苦しい思いをされていることと存じます。一斉休校は、生命の危機に瀕する感染拡大防止のため、人と人との関わりを大幅に減らす措置であります。しかし、感染症防止対策と学校の社会システムとの両立は本来成り立たないにもかかわらず、それを強いられ続けられる矛盾に歯がゆさと焦燥感を募らせています。子供たちに基本的な生活習慣を身に付けさせ、学力や体力を向上させる学校の役割が、今回の学校休業の再延長で機能不全を起こしています。

そこで、これまで学校で当たり前に見られた風景や仕組みを大きく転換します。教室に子供が集い、先生と対面で授業を行う形から、渋谷区の環境設備の強みであるタブレットを活用したICT機器をフル活用したいと思えます。

学習課題については、段階的に教科書の内容を進めていきます。つまり、学習課題への取組が「評価」につながることとなります。「生活リズム」を学校生活に戻すことから、本格的に「学び」を前に進めることとなります。

この息苦しい日々の中であって、社会の根幹である「緊密な人と人のかかわり」を破壊する凶暴な感染症との戦いにおいて、大切にしなければならないのは「つながりは変わらない、連帯してたたかおう」との決意です。この気持ちをみんなで共有し、直面する未曾有の危機にみんなで協力し助け合い乗り切っていきましょう。

今後とも、児童・生徒を真ん中に、保護者の皆様と我々教職員がしっかりと手を携えながら、力を合わせてまいりたいと存じます。

見えない不安はとても大きく感じられ、人も社会もパニックになります。そこから抜け出すには、まずは深呼吸をして、自らを取り戻すために落ち着くことです。自分にできることを考えて、粛々と実践する。向かっている不安の元は小さなウィルスです。要はウィルスを防げばいい。体力を消耗せず元気を維持し、ウィルスの侵入経路である両手の殺菌作戦を遂行していけばいいのです。

遅くとも春は必ず来ます。学園で再会しましょう。

# 5月11日からの教育活動について

## ◎タブレット端末を活用した授業の開始について

5月11日（月）から、児童・生徒に貸与しているタブレット端末を活用して、段階的に授業を進めていきます。これは、「学校生活と同じ生活リズムを取り戻すこと」「各教科の基礎学力を家庭学習で身に付けること」をねらいとしています。

タブレット端末を活用した学習に加えて、学年や学習内容については学習課題のプリントを配布する場合があります。

## ◎健康観察の入力について

今まで、学校ホームページを使って児童・生徒の健康観察について把握をしてきました。毎日の入力にご協力いただき、ありがとうございます。

5月11日（月）からは、3～9年生とF組についてはコラボノートを使って健康観察をしていきます。したがって、今までの学校ホームページによる健康観察入力が必要ありません。

1・2年生とE組については、まだコラボノートが使えない児童もいるので、今までどおり学校ホームページでの健康観察入力をお願いいたします。入力は平日のみ、入力時間は朝5時から夕方17時までといたします。現在、コラボノートでの伝達方法についてまとめた資料を作成中です。伝達方法が変わる場合にはまた連絡いたします。

## ◎「配布・連絡日」の設定について

学習課題のプリントや書類等の配布、また回収をするために、週に1～2回の「配布・連絡日」を設定します。それぞれの学年や学級によって日程や時間、方法が違いますので、学校ホームページでご確認ください。

なお、登校については任意ですが、登校できない場合は指定の時間までにご連絡をお願いいたします。登校しなくても、欠席扱いにはなりません。

上記3点についての詳しいことについては、学校ホームページの「学習の取組」で各学年や学級の取り組み方等をご確認ください。

## ◎今後の学校行事の変更について

今回の臨時休業の影響で、行事についても中止や延期を決定したり、検討したりしなければなりません。現在のところ決まっている行事の予定について、学校ホームページの「学校行事」に載せました。ご確認ください。

## ◎学校の校庭開放について

児童・生徒の運動不足解消をねらいとして、本校の校庭を下記の時間に開放します。保護者の方の責任の下で利用してください。使用学年を決めていますが、兄弟姉妹で使用する場合はこの限りではありません。今後の開放については3日間の利用状況等を見て、またお伝えします。くれぐれもけがにはご注意ください。水筒も持参してください。

★ 12日(火)・・・中学生 13日(水)・・・4～6年 14日(木)・・・1～3年・E組

★ 時間は13時～15時 場所は渋谷本町学園の校庭

# お世話になりました！

昨年度末で退職・転任となりました、教職員からお別れのメッセージが届きました。（★は転任先です。）

## 大和 義行 先生（統括校長）

東日本大震災の後、テレビから流れた一編の詩に多くの方が心を動かされました。

「こころ」はだれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」は見える。その気持ちをカタチに。

修了式の日、「新型コロナウイルスへの対応から何を学びましたか？」と子供たちに問いかけました。私は「『思いやり』以外に『感謝』や『自律（自らを律する）』をカタチにしたら？」と考えました。今、そして今後、私たちには積極的な行為や行動が求められます。子供たちが、学校生活を満喫できる時間が、1分でも早く来てくれることを願っています。1年間、本当にありがとうございました。

## 畔柳 徹朗 先生（中学校 副校長） ★墨田区立両国中学校

渋谷本町学園の皆さん、地域の皆さん、大変お世話になりました。私は、4月から墨田区立両国中学校に勤務しています。両国中学校は、各学年6学級で生徒数653名です。渋谷本町学園小学校と、同じくらい的人数です。建物も似ていて、地上7階建てで、各教室と体育施設が別になっています。温水プールもあり、普段は別の会社が管理しています。建ってから10年と少しですが、雨が降ると校内に水たまりができるところもそっくりです。まだ、生徒には会っていませんが、渋谷本町学園で勉強させていただいたことを生かし、PTAの方や地域の方、そして教職員と協力してよりよい学校にしていきたいと思います。3年間ありがとうございました。

## 堤 敦子 先生（小学校 主任教諭） ★渋谷区立神宮前小学校

渋谷本町学園が開校した時より8年間お世話になりました。この学園に来た時、完成したばかりの校舎が輝いて見えたことを思い出します。渋谷本町学園の子供たちは、明るく素直で、何事にもひたむきに頑張る素晴らしい子供たちでした。一緒に過ごした楽しい日々は、何よりも大切な思い出です。渋谷区で唯一の小中一貫教育校で、小学校はもとより、中学校の先生方や生徒の皆さんからも、たくさんのことを学び、貴重な経験をさせていただきました。

これまで、温かく支えてくださいました先生方、職員の皆様、惜しみないご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

## 駒井 祐紀子 先生（小学校 主任教諭） ★渋谷区立富谷小学校

渋谷本町学園には開校から8年間勤め、この4月に同じ渋谷区の富谷小学校に異動しました。保護者の皆様、子供たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。

開校からずっとE組の担任をさせていただき、個性豊かな子供たちと過ごす毎日が、とにかく楽しかったです。E組では、毎年いろいろな場所に出かけ、体験活動を多く取り入れました。様々な体験の中で、子供たちは見通しをもち、自分から取り組もうとする力を育むことができたのではないかと考えています。将来の生活の中でE組での体験を少しでも生かすことができたら嬉しいです。

8年間大変お世話になりました。ありがとうございました。近くにいますので、道で会ったら、声をかけてください。

馬淵 由梨香 先生（小学校 主任教諭） ★渋谷区立代々木山谷小学校

渋谷本町学園では5年間お世話になりました。図工室での毎日は、皆さんの新しい発見や発明にあふれていて、いつもワクワクさせられました。皆さんしか気付けない場面や、感じ方をたくさん教えてもらったと思います。四つ葉のクローバーのしげみ、黄緑色の鳥、倉庫の下のねこ、枯草のベッド。木の下で一心に筆を動かしていた姿や、大きなダンボールを組み立てていくキラキラした目を、私はずっと忘れないと思います。

今の皆さんが明るく希望をもち進んでいくために、図工の時間を思い出してくれたらいいな、と思います。今まで本当にありがとうございました。

田代 憲一 先生（中学校 主任教諭） ★町田市立薬師中学校

渋谷本町学園では、7年間という長い間お世話になりました。ありがとうございました。

今年の1月に、5年前に担任した生徒たちが成人式を迎え、久しぶりに再会しました。彼らは、それぞれに自分の道を歩み、将来のことを真剣に考えていました。卒業生たちが立派に成長できたのは、渋谷本町学園で多くのことを学ぶことができたからだと思います。

小中学生としての時間は、人生の礎（土台）となるととても大事なものです。皆さんも目の前のことに全力で取り組み、たくさんのお話を学びながら成長していきましょう。応援しています。

土屋 善範 先生（中学校 主任教諭） ★調布市立神代中学校

4年間お世話になりました。学年6クラス規模の学校から2クラスの規模、特に最初の年は各クラス30名に満たないような環境に異動し戸惑いました。しかし、子供たちや保護者の方々、時には地域の方々の温かい協力をいただき、小規模校ならではの様々な活動に生徒たちと共に取り組んでいくことができました。ありがとうございます。きちんとお別れができませんでしたが、送り出した生徒たちはもうずっと大人です。届いた卒業文集をじっくりと読みながら噛みしめています。

生徒が、先生が、関わる全ての人が夢中になれる学校を。新天地は一学年9クラスもある、都内最大規模の中学校です。夢中になって頑張ります。皆さんの幸せを願います。

志村 さゆり 先生（中学校 主任養護教諭） ★江東区立大島西中学校

4年間本当にあっという間でしたが、1年生から9年生が利用する渋谷本町学園の保健室で皆さんの成長や発達を見守ることができたのは、私にとってとても貴重な経験となりました。自分たちの力で渋谷本町学園を創り上げていこうとする皆さんの姿は、とても頼もしく、多くのことを学ばせていただきました。皆さんと皆さんの周りの大切な人が健康に過ごせることを心から願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、教職員の皆様には4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

加藤 啓明 先生（小学校 教諭） ★武蔵野市立桜野小学校

渋谷本町学園では、5年間お世話になりました。担任したどの学年の子供たちとも楽しい思い出があり、学園を離れてとても寂しい気持ちです。

その中でも思い出深いのは、運動会と移動教室です。運動会の緊張感と演技中のきりっとした真剣な表情。また、移動教室中の全力での盛り上がり、たった数日での見違えるほどの成長。私はそんな子供たちの姿が大好きでした。

最後になりましたが、いつも温かく受け入れてくださった保護者の皆様・地域の皆様、指導してくださった教職員の皆様のおかげで、充実した5年間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

渡邊 めぐみ 先生（小学校 教諭） ★江東区立枝川小学校

渋谷本町学園小学校での4年間、大変お世話になりありがとうございました。

私は、子供たちが明るく挨拶をする姿や、授業でたくさんのお考えを発表する姿を通して、より一層元気をもらいました。また、保護者の方々や地域の方々には、運動会や渋谷本町学園フェスティバルなど様々な場面において支えていただき、感謝しております。

私は、渋谷本町学園で出会えた子供たちや保護者の方々、地域の方々、教職員の方々との楽しい思い出を大切に、次の赴任校でも頑張っていきます。これからも子供たちが更に羽ばたくことを祈念しております。今までありがとうございました。

上田 郁子 先生（小学校 教諭） ★大田区立池上小学校

渋谷本町学園は、私が東京都公立小学校の教員として出発した初任校です。当時、渋谷本町学園もまた新設校でした。全ての教育活動が新しい挑戦であり、苦労が多かった分、充実した毎日でした。迷いや悩みが多かった私は、先生方、事務の方、用務の方、給食の方、保護者の方、皆さんに助けてもらいました。何より、子供たちの明るく元気な笑顔に、日々たくさんのお勇気をもらいました。今日の私があるのは、皆様のおかげと感謝しています。

この8年間にこの学園で学んだ、周りの人と助け合うことや辛い時こそ笑顔で前向きな気持ちで過ごすことをこれからも大切にしていきたいと思えます。8年間、どうもありがとうございました。

滝澤 研吾 先生（小学校 教諭） ★清瀬市立第七小学校

渋谷本町学園には6年間いました。教室から都庁を眺められる景色は、校庭にトカゲやカエルが出てくる今の学校とは違い、都会の中心にいる魅力を感じられる日々でした。1年生から9年生までいる校舎はいつも活気に満ちて楽しかったです。1年目で担任していた4年生の子供たちが9年生として立派に卒業する姿を見られるのも渋谷本町学園ならではの喜びでした。

E組では4年間担任をしました。どんなことにも意欲的に取り組み、「次、どんなことするの」と目を輝かせて聞いてくる子供たちとの毎日は、教師としての仕事の喜びを感じさせてくれて、幸せでした。急なお別れとなり心残りはありますが、保護者の方には心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

白石 孝久 先生（小学校 教諭）

明るく元気な3年C組を担当しました。児童理解を深めると、広義の意味での社会性の発達に個人差がとても大きいことが分かりました。授業中の学び合い、話し合い活動等にそれが見え隠れしていました。その改善のために、現在の自分を（もう一人の自分）で見ることができるとの育成、内なる思考の必要性を感じ、実践してきました。これは「メタ認知」と言われ、東京都が推進する自己肯定感を高める教育方法の一つです。ただ、育成に時間がかかります。3月に自己肯定感を振り返る計画ができなくなり、無念としか言いようがありません。そして、保護者会もなくなり、挨拶もできず、この紙面で失礼させていただきます。1年間、ありがとうございました。

永松 智之 先生（小学校 教諭） ★渋谷区立常磐松小学校

渋谷本町学園で過ごした日はあっという間に過ぎました。初めて渋谷本町学園に来た時は、西新宿や初台の高層ビル群がすぐ近くにあり、都会の学校という印象でした。子供たちと接していると、素直で何事にも一生懸命に取り組むことができる子供が多いことが分かってきました。また、日々の学習や学校行事で成長していく姿が印象的でした。音楽朝会で元気に歌ったこと、体育集会で運動を楽しく行ったことなど、渋谷本町学園で過ごした日々を懐かしく思います。

新型コロナウイルスの影響で、学期末まで子供たちと一緒に過ごすことができずに残念でしたが、これからも元気に毎日を大切に過ごしてほしいと思えます。

永井 暁人 先生（中学校 教諭） ★府中市立府中第一中学校

「好き」の反対の言葉は何でしょうか？

「好き」の反対は「嫌い」と答える人が多いのではないのでしょうか。間違いでないと思うのですが、このような話もあります。「好き」も「嫌い」も、相手に関心があることには変わりない。だから、「好き」の反対は「無関心」である。（中学生へ：数学的に考えると、+3の反対が-3ではなく0だという事になるので、違和感のある考え方ですが、それはさておき…）

次の問題です。「ありがとう」の反対は何でしょうか。答えは、「あたりまえ」だそうです。この大変な時だからこそ、「ありがとう」の気持ちを大切にできる人でありたいです。渋谷本町学園で関わりのあった皆さん、今までありがとうございました。

長谷川 彩 先生（中学校 教諭） ★練馬区立光が丘第三中学校

お久しぶりです。皆さん、新型コロナウイルスに負けず元気に過ごしていますか？

私はこの4月から、練馬区立光が丘第三中学校で2年生の担任となりました。まだ生徒たちとはあまり会えていないのですが、すてきな一年にしていきたいと思っています。

渋谷本町学園で皆さんと過ごすことができた時間は、私の宝物です。小中一貫教育校ならではの、1年生から9年生みんなまで歌う元気いっぱいの校歌や、中学生の低学年への優しさ、中学生に交じて部活動等へ一生懸命に取り組む小学生の素直さなど、すてきな場面にたくさん出会うことができました。学校は変わってしまいましたが、今後も皆さんの活躍を応援しています。6年間ありがとうございました。

高樋 翠 さん（栄養士） ★渋谷区立西原小学校

皆さん、お久しぶりです。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、きちんとお別れができず、残念です。

社会人1年生として、渋谷本町学園で皆さんと過ごした1年間は毎日が楽しく、私にとって大切な宝物です。1年間という短い時間でしたが、渋谷本町学園の栄養士として働くことができて、とても幸せでした。本当にありがとうございました。

今はまだ大変な状況が続いていますが、1日でも早くこの状況が収まって、また毎日、おいしい給食が食べられる日がくることを願っています。

伊藤 大助 さん（中学校 事務主事） ★渋谷区立西原小学校

LOVE&PEACE 5年間、ありがとうございました。

池田 みち子 さん（小学校 事務主事）

渋谷本町学園を退職し、まだ日が浅いので、朝になると出勤しそうになります。新年度がスタートしたのに、大変な始まりになってしまいました。

児童・生徒の皆様、先生方も気分を新たに、新学期をスタートしてください。5年間、お世話になりました。

松本 芳暁 さん（用務主事 技能主任）

渋谷本町学園の子供たちは、のびのびと元気がよく、それを支える教職員の軽いフットワークに驚いた3年間でした。渋谷本町学園の一員として働けたことをうれしく思います。本当にありがとうございました。